

「みんなで創る 笑顔あふれる おらか地域の学校」



学校教育目標 「賢く 優しく 逞しく」

**高萩中だより**

令和6年2月1日 第12号



考えよう  
家族みんなで  
スマホのルール

私たちは子供たちの携帯モラル育成に取り組みます

日高市立高萩中学校

「ふるさとを愛し、  
生きていく力を育む萩っ子」の育成を目指します

## キープサンハチ KEEP38プロジェクト

校長 河村 康郎

昨年末のこと、秩父の街道を車で走行中、信号のない横断歩道の端に中学生くらいの男の子が立っていました。横断歩道の手前で停車すると、その少年は満面の笑顔で横断歩道を走って渡りました。少年の満面の笑顔に、私は当たり前のことをしていただけなのに、清々しい気持ちになりました。「走らなくて大丈夫だよ、そんなに気を使わないで。ゆっくり渡って。」と心の中で思いながら少年を見ていました。横断歩道を渡り切った少年は、こちらに振り返り、深々とおじぎをしてくれました。私も走り出す前に、おじぎをしました。

埼玉県警察では、交通事故防止の取組の一環として、横断歩道における歩行者優先「キープサンハチKEEP38プロジェクト」を推進しています。（令和2年10月開始）

「KEEP38プロジェクト」とはなにか。道路交法第38条は、「横断歩行者における歩行者優先義務」が明記されています。（道路交法38条を守る＝KEEP38）

しかしながら、信号機のない横断歩道を歩行者が渡ろうとしているにもかかわらず一時停止をしない車両や、横断歩道に接近する際、停止できる速度に減速し、歩行者の有無を確認しない車両など、法令遵守に欠けるドライバーも多く、未だ歩行者が被害に遭う交通死亡事故が後を絶ちません。埼玉県警察では、県内における横断歩行者の事故撲滅を目指し、法令遵守の表明や模範運転を推進するため、シンボルマークを考案しました。どこかで見たことがある人もいるかも知れません。



令和3年8月号の「広報ひだか」にもKEEP38プロジェクトについて記載がありましたが、まだまだ認知されていないのが現状だと思います。今回、この学校だよりを目にいただいた生徒、保護者、地域の方々からプロジェクトが広がり、安心して横断歩道を渡ることができる世の中になってほしいと思います。ちなみに自転車を利用しているときは、自転車から降りて、横断歩道付近に立つことで歩行者と見なされます。

裏面に道路交法第38条の解説について、イラストを掲載させていただきます。ご家庭でも親子で確認していただければと思います。

### ☆保護者の皆様へ

県内感染症発生情報(週報)において新型コロナウイルス感染症の定点当たりの報告者数が、1月に入り大幅に増加しているようです。入試等を控える3年生にとって大事な時期となります。引き続き感染防止に努めていただきたいと思います。

